

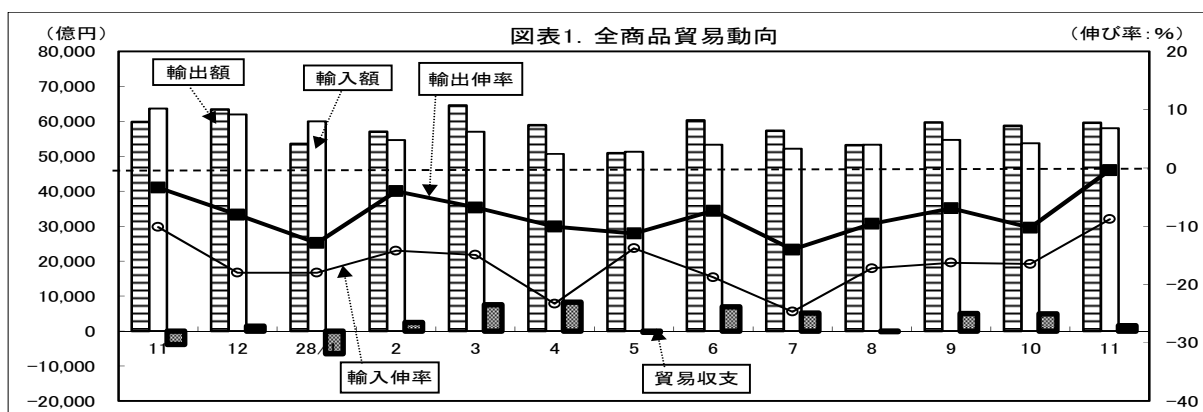
「最近の機械貿易動向(11月)～機械輸出伸び率14ヶ月連続マイナス～」

日本機械輸出組合 2017.1.13.

平成28年11月の機械輸出額は3兆8,978億円、対前年同月比1.0%減と、14ヶ月連続でマイナスとなった。これは、①その他地域、EU、ASEAN・南アジアの3地域向けがマイナスとなったこと、②自動車をはじめ、主要な21輸出業種の半分以上がマイナスとなったことなどによる。為替・営業日要因が2.8%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は1.9%増と2ヶ月連続でプラスとなった。平成28年12月の為替・営業日要因は4.3%の減少寄与要因となっているが、1月12日発表の貿易統計速報によれば12月上中旬の全商品輸出は0.2%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は14ヶ月連続、輸入は23ヶ月連続でマイナス～

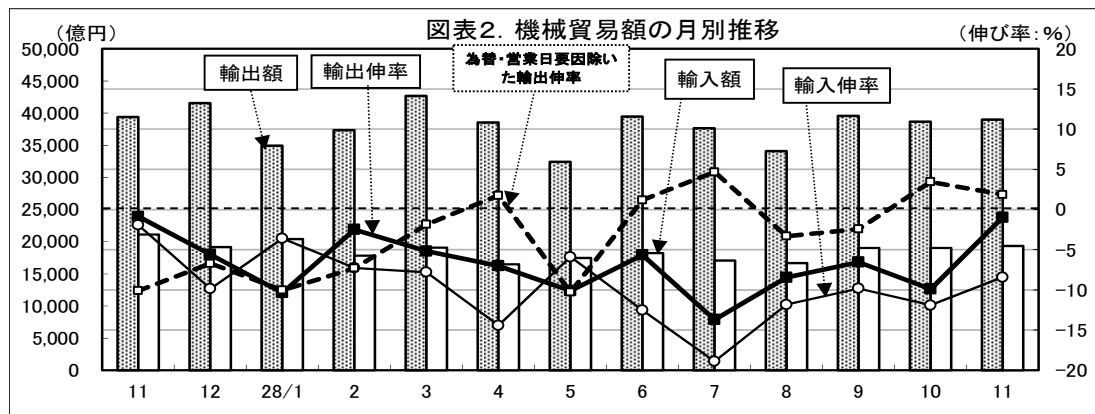
- 平成28年11月の全商品輸出額は5兆9,568億円、前年同月比(以下同じ)0.4%減と14ヶ月連続でマイナスとなった(10月10.3%減)。これは、全輸出額の約19%を占める一般機械(2.9%増)、18%の電気機器(3.2%増)がプラスとなったものの、11%の鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(6.4%減)、25%の輸送用機器(4.6%減)等がマイナスとなったためである。
- 輸入額は5兆8,060億円、8.8%減と23ヶ月連続でマイナスとなった(10月16.5%減)。これは、全輸入額の約19%を占める原油等鉱物性燃料(14.4%減)が原油価格下落等で大幅に減少したことに加え、17%を占める電気機器(9.1%減)、医薬品等化学製品(13.1%減)、一般機械(9.3%減)等が大きく減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、1,508億円と3ヶ月連続の黒字となった。(10月は4,960億円の黒字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は14ヶ月連続でマイナス～

- 全商品輸出額の約65%を占める11月の機械輸出額は3兆8,978億円、1.0%減と14ヶ月連続でマイナスとなり(10月9.9%減)、その水準は、リーマンショック前(2007年11月)と比べると77.5%となつて、前月に比べて2.5ポイント改善した(10月75.0%)。なお、為替・営業日要因を除いた実質的な伸び率は1.9%増であった。
- 一方、全商品輸入額の約33%を占める機械輸入額は1兆9,340億円、8.4%減と13ヶ月連続でマイナスとなった(10月11.9%減)。ただし、リーマンショック前(2007年11月)の水準に比べ、11.2%増となっている。

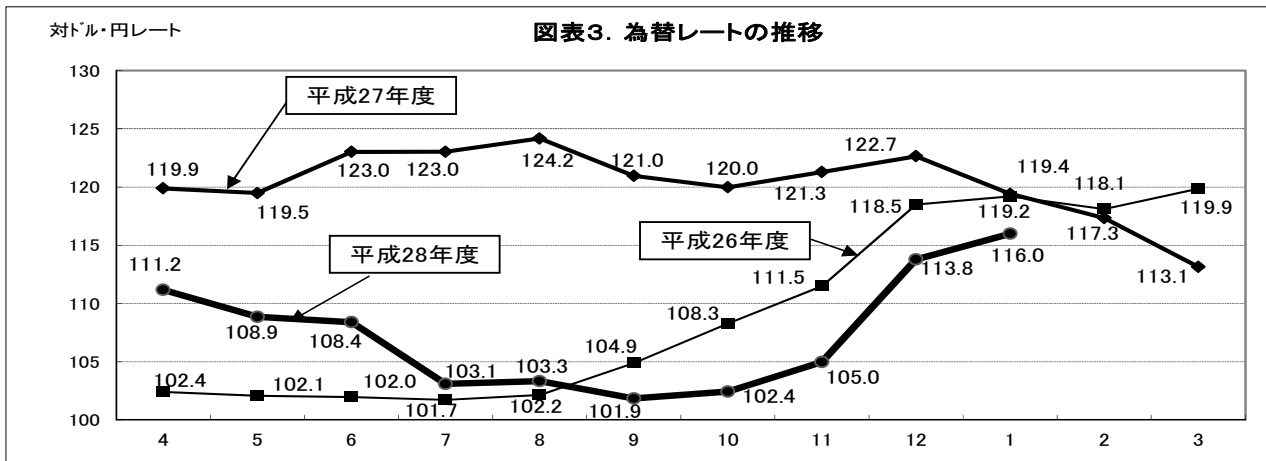


(2) 為替・営業日動向～11月は2.8%の減少要因、12月は約4.3%の減少要因～

1) 11月は1ドル=105.0円となり、前年に比べ13.4%の円高となった。また、対ユーロは114.9円と前年に対して13.7%の円高となり、合わせて約7.7%の為替減少要因となった。営業日は前年より1日多いため、5.3%の増加要因となり、合計で約2.8%の減少要因となる。11月の輸出額は1.0%減であったことから、実質的伸び率は1.9%増と2ヶ月連続でプラスとなった(10月3.4%増)。

2) 12月は1ドル=113.8円で前年比7.3%の円高、対ユーロは120.8円で前年比8.5%の円高となり、合わせて約4.3%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約4.3%の減少要因となる。

3) 2017年1月は、対ドルが1月11日17:00時点の116.0円とすれば、前年に比べて2.8%の円高、また、対ユーロは122.5円で5.9%の円高となり、合わせると約1.8%の為替減少要因となる。営業日は前年と同じため、合計で約1.8%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～その他地域、EU、ASEAN・南アジアの3地域向けがマイナス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の26.6%を占める最大輸出先の北米向けでは、産業機械(10.4%減)や航空機部品(19.3%減)等が減少したものの、全体の58%を占める自動車(8.4%増)が増加してほぼ横這い(0.1%増)となった。②21.7%を占める中国向けでは、光学機械(14.4%減)、民生用電子機械(4.0%減)等がマイナスとなったものの、産業機械(18.1%増)、自動車(11.3%増)、電子デバイス(10.4%増)等がプラスとなって6.2%増となり、③14.4%のASEAN・南アジア向けは、インドネシア(10.4%増)、パキスタン(10.9%増)が二桁のプラスとなったものの、タイ(6.0%減)、シンガポール(3.9%減)等がマイナスとなり、業種では、電子デバイス(10.0%増)、配電機器等軽電気機械(7.9%増)がプラスとなったものの、全体の25%を占める自動車(6.7%減)、産業機械(7.6%減)等がマイナスとなり、0.7%減となった。④11.5%を占めるEU向けは、37%を占める自動車(4.3%減)をはじめ、産業機械(13.5%減)、理化学用機器等軽機械(6.8%減)等がマイナスとなって、4.5%減となり、⑤10.2%を占める韓国・台湾向けは、半導体製造装置、原動力機械等産業機械(26.3%増)、自動車(10.3%増)、電子デバイス(7.4%増)等が増加して12.2%増となった。⑥15.6%のその他地域向けでは、アフリカ(36.6%増)がプラスとなったものの、中近東(28.5%減)、大洋州(17.3%減)、中南米(16.2%減)向け等が二桁のマイナスとなり、機種では、産業機械(28.4%増)がプラスとなったものの、61%を占める自動車(22.8%減)や船舶(19.6%減)等がマイナスとなって15.1%減となった。

2) また、リーマンショック前の2007年11月の地域別輸出額と比較すると、100%を超えた地域はなく、中国、ASEAN・南アジア向けが90%台、北米、韓国・台湾向けが80%台、その他地域向けが60%台、EU向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2016/9			2016/10			2016/11			対07年 11月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	39,550	▲ 6.6	100.0	38,662	▲ 9.9	100.0	38,978	▲ 1.0	100.0	0.78
北米	9,985	▲ 7.6	25.2	10,116	▲ 9.5	26.2	10,378	0.1	26.6	0.83
中国	7,813	▲ 12.8	19.8	8,115	▲ 11.1	21.0	8,448	6.2	21.7	0.96
ASEAN・南アジア	5,784	▲ 8.3	14.6	5,521	▲ 10.9	14.3	5,630	▲ 0.7	14.4	0.94
EU	4,732	▲ 3.3	12.0	4,665	▲ 9.7	12.1	4,478	▲ 4.5	11.5	0.57
韓国・台湾	4,244	8.6	10.7	4,090	1.7	10.6	3,981	12.2	10.2	0.82
その他	6,992	▲ 6.2	17.7	6,155	▲ 14.5	15.9	6,064	▲ 15.1	15.6	0.60

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2016/8		2016/9		2016/10		2016/11	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,850	7.4	2,086	9.3	2,027	2.4	2,095	25.5
台湾	1,979	▲ 0.7	2,158	7.9	2,062	0.9	1,887	0.3
ASEAN・南アジア								
タイ	1,367	▲ 8.5	1,532	▲ 10.0	1,514	▲ 11.4	1,490	▲ 6.0
シンガポール	874	▲ 4.7	795	▲ 26.7	718	▲ 28.4	786	▲ 3.9
インドネシア	573	▲ 14.5	661	▲ 0.2	600	1.5	640	10.4
マレーシア	553	▲ 17.6	635	▲ 4.5	618	▲ 10.5	617	4.2
フィリピン	625	9.4	645	▲ 0.8	639	▲ 0.4	613	▲ 3.4
ベトナム	576	▲ 8.8	628	▲ 3.6	679	3.7	657	4.1
インド	421	13.9	484	21.6	370	▲ 10.3	431	4.6
パキスタン	127	▲ 3.5	156	15.9	158	▲ 4.7	147	10.9
その他地域								
中南米	1,609	▲ 18.3	2,346	1.5	1,771	▲ 12.6	1,797	▲ 16.2
中近東	1,574	▲ 13.5	2,066	▲ 11.3	1,757	▲ 28.2	1,827	▲ 28.5
大洋州	1,021	▲ 10.2	1,098	▲ 12.9	1,211	▲ 2.9	1,018	▲ 17.3
ロシア東欧等	820	21.5	945	▲ 1.0	987	3.8	795	1.6
アフリカ	465	▲ 21.4	525	▲ 14.0	467	▲ 19.9	603	36.6

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中9業種がプラスである一方、二桁減は5業種～

- 1)業種別では、21業種中9業種がプラスとなり(10月に比べて8業種増加)、プラスとなった9業種のうち、鉄道車両(66.0%増)と建設機械(10.6%増)が二桁増であった一方、二桁減の業種も、航空機部品(13.1%減)、通信機械(16.7%減)等5業種あり、この結果、機械全体で1.0%減となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、鉄道車両、軽機械、ベアリングの4業種のみであり(10月は5業種)、他方、電子計算機、民生用電子機械が30%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2016/9			2016/10			2016/11			対07/11比		
	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額		伸び率	シェア
自動車	14,608	▲ 5.4	36.9	自動車	14,410	▲ 8.6	37.3	自動車	14,794	▲ 3.9	38.0	0.82
産業機械	6,669	3.2	16.9	産業機械	6,723	▲ 2.4	17.4	産業機械	6,683	5.7	17.1	0.93
電子デバイス	3,156	▲ 11.8	8.0	電子デバイス	3,161	▲ 7.1	8.2	電子デバイス	3,121	6.8	8.0	0.73
軽電気機械	2,063	▲ 6.9	5.2	軽電気機械	2,030	▲ 10.1	5.3	軽電気機械	1,991	3.7	5.1	0.75
重電気機械	1,876	▲ 3.1	4.7	重電気機械	1,880	▲ 9.6	4.9	重電気機械	1,869	4.9	4.8	0.84
軽機械	1,561	▲ 6.5	3.9	軽機械	1,527	▲ 12.5	3.9	軽機械	1,543	▲ 0.9	4.0	1.12
民生用電子機械	1,415	▲ 16.4	3.6	民生用電子機械	1,408	▲ 18.8	3.6	民生用電子機械	1,358	▲ 4.6	3.5	0.34
船舶	1,415	▲ 7.6	3.6	光学機械	1,236	▲ 14.6	3.2	光学機械	1,225	▲ 8.7	3.1	0.92
光学機械	1,279	▲ 10.6	3.2	船舶	1,011	▲ 14.6	2.6	船舶	1,191	3.2	3.1	0.62
建設機械	903	▲ 5.0	2.3	建設機械	848	▲ 1.5	2.2	建設機械	865	10.6	2.2	0.66
航空機部品	700	▲ 8.8	1.8	航空機部品	681	▲ 19.5	1.8	航空機部品	631	▲ 13.1	1.6	1.76
工作機械	643	▲ 17.5	1.6	通信機械	615	▲ 32.2	1.6	通信機械	589	▲ 16.7	1.5	0.63
通信機械	617	▲ 29.5	1.6	工作機械	554	▲ 28.7	1.4	工作機械	525	▲ 16.0	1.3	0.59
電子計算機	459	▲ 6.5	1.2	電子計算機	409	▲ 19.9	1.1	医療機械	423	▲ 8.3	1.1	0.95
医療機械	450	▲ 15.0	1.1	医療機械	427	▲ 5.2	1.1	電子計算機	406	▲ 10.1	1.0	0.32
ベアリング	368	▲ 5.6	0.9	ベアリング	361	▲ 16.1	0.9	ベアリング	369	0.6	0.9	1.06
陸用内燃機関	339	▲ 6.3	0.9	陸用内燃機関	312	▲ 10.3	0.8	陸用内燃機関	325	5.5	0.8	0.79
繊維機械	176	5.7	0.4	繊維機械	175	▲ 6.0	0.5	繊維機械	183	▲ 3.2	0.5	0.67
農業機械	151	▲ 35.6	0.4	農業機械	174	▲ 33.0	0.5	農業機械	158	▲ 18.0	0.4	0.80
鉄道車両	118	6.6	0.3	鉄道車両	120	85.6	0.3	産業車両	115	▲ 4.5	0.3	0.50
産業車両	100	▲ 28.7	0.3	産業車両	111	▲ 22.1	0.3	鉄道車両	112	66.0	0.3	1.25
21業種合計	39,064		98.5	21業種合計	38,173		98.4	21業種合計	38,477		98.7	0.78

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信

(5)機種別動向～鉄道車両、原動力機械が大幅増、発電機等が大幅減～

1)10%以上の伸び率を示した機種は8機種(10月は2機種)で、①EU特に英国向けが大きく伸びた**鉄道車両**(66.0%増)、②その他地域、韓国・台湾向け**原動力機械**(29.6%増)、③韓国・台湾、中国向け**半導体製造装置**(25.3%増)、④北米、中国、EU向け**産業用ロボット**(19.6%増)、⑤中国、ASEAN・南アジア向け**配電機器**(18.7%増)、⑥中国、韓国・台湾、北米向け**電動機**(16.1%増)、⑦中国向け**電気・電子計測器**(16.0%増)、⑧北米向け**建設機械**(10.6%増)であった。

2)一方、発電機(27.9%減)、受信変換その他送受信機器(27.2%減)、をはじめ、マイナス伸び率上位10機種すべてが二桁の大幅な減少であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2016/9			2016/10			2016/11		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
半導体製造装置	1,679	29.7	鉄道車両	120	85.6	鉄道車両	112	66.0
電動機	142	10.0	半導体製造装置	1,618	35.5	原動力機械	540	29.6
機種合計	1,821	* 4.6%	機種合計	1,738	* 4.5%	半導体製造装置	1,532	25.3
						産業用ロボット	160	19.6
						配電機器	551	18.7
						電動機	144	16.1
						電気・電子計測器	391	16.0
						建設機械	865	10.6
						機種合計	4,295	* 11.0%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター

その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電機機器・部分品:重電機器部分品、交通管制用機器

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2016/9			2016/10			2016/11		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
通信機械部分品	289	▲ 42.8	通信機械部分品	299	▲ 41.1	発電機	64	▲ 27.9
磁気カード・ディスク等	119	▲ 40.8	発電機	69	▲ 35.1	受信変換その他送受信機器	121	▲ 27.2
農業機械	151	▲ 35.6	農業機械	174	▲ 33.0	通信機械部分品	287	▲ 23.2
産業車両	100	▲ 28.7	磁気カード・ディスク等	142	▲ 33.0	貨物自動車	698	▲ 18.6
写真機の部分品・附属品	111	▲ 25.6	受信変換その他送受信機器	125	▲ 32.8	農業機械	158	▲ 18.0
発電機	88	▲ 25.3	貨物自動車	680	▲ 29.6	磁気カード・ディスク等	143	▲ 16.8
時計	83	▲ 25.1	工作機械	554	▲ 28.7	TV	91	▲ 16.2
TV	96	▲ 22.9	ベアリング	361	▲ 25.1	工作機械	525	▲ 16.0
貨物自動車	774	▲ 21.1	時計	84	▲ 25.1	航空機部品	631	▲ 13.1
受信変換その他送受信機器	143	▲ 20.2	金属加工機械	231	▲ 24.6	写真機の部分品・附属品	130	▲ 11.6
機種合計	1,954	* 4.9%	機種合計	2,719	* 7.0%	機種合計	2,848	* 7.3%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6)機械輸入動向～電子デバイス、白物家電等が大きく減少～

1)11月の機械輸入伸び率は8.4%減と13ヶ月連続のマイナスとなった。上位12機種のうち9機種がマイナスとなり、そのうち電子デバイス(16.4%減)、白物家電(14.9%減)、配電機器(12.3%減)が二桁のマイナスであった。上位12機種のうち、航空機・部品等(9.6%増)をはじめ3機種がプラスであった。

2)なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、携帯電話、航空機・部品等、医療機械、白物家電、受信変換・その他送受信機器、通信機械部分品、TV、時計の9機種となっている。

3)地域別機械輸入額は、全体の41%を占める中国(8.2%減)、ASEAN・南アジア(9.4%減)、北米(7.7%減)、EU(11.5%減)、韓国・台湾(6.1%減)、その他地域(5.2%減)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2016/9				2016/10				2016/11			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
携帯電話	2,571	▲ 3.3	13.5	携帯電話	2,412	▲ 3.3	12.7	電子デバイス	2,053	▲ 16.4	10.6
電子デバイス	2,148	▲ 16.1	11.3	電子デバイス	1,992	▲ 20.9	10.5	電子計算機	1,778	▲ 3.5	9.2
電子計算機	1,561	▲ 20.4	8.2	電子計算機	1,565	▲ 11.2	8.2	携帯電話	1,560	▲ 5.9	8.1
自動車部品	1,108	▲ 11.4	5.8	自動車部品	1,153	▲ 2.9	6.1	自動車部品	1,225	▲ 2.0	6.3
航空機・部品等	1,057	60.6	5.6	航空機・部品等	1,107	▲ 13.8	5.8	航空機・部品等	1,187	9.6	6.1
乗用車	941	▲ 3.0	4.9	乗用車	928	1.2	4.9	乗用車	930	▲ 8.7	4.8
医療機械	635	▲ 0.6	3.3	医療機械	608	▲ 5.6	3.2	医療機械	678	▲ 1.9	3.5
白物家電	521	▲ 23.6	2.7	白物家電	606	▲ 12.8	3.2	白物家電	673	▲ 14.9	3.5
配電機器	485	▲ 13.8	2.5	受信変換その他送受信	522	▲ 4.0	2.7	受信変換その他送受信	565	1.1	2.9
受信変換その他送受信	468	▲ 9.6	2.5	配電機器	499	▲ 8.2	2.6	配電機器	529	▲ 12.3	2.7
その他の配電制御装置	377	▲ 16.2	2.0	その他の配電制御装置	379	▲ 7.3	2.0	その他の配電制御装置	401	▲ 7.3	2.1
コンデンサー等部分品	337	▲ 16.9	1.8	コンデンサー等部分品	349	▲ 7.1	1.8	コンデンサー等部分品	388	3.1	2.0
12機種合計	12,209		64.2	12機種合計	12,120		63.7	12機種合計	11,967		61.9

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械

・受信変換その他送受信:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等